

●特集 平成 26 年 11 月 22 日の長野県北部の地震

（１）概要

平成26年11月22日22時08分に、長野県北部の深さ 5 km で M6.7 の地震が発生し、長野県長野市、小谷村、小川村で震度 6 弱、長野県白馬村、信濃町で震度 5 強を観測したほか、中部地方を中心に、東北地方から中国地方の一部にかけて震度 5 弱～1 を観測した。

この地震により、負傷者46人、住家全壊39棟、住家半壊75棟などの被害を生じた（12月9日16時45分現在、総務省消防庁による）。気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から3.2秒後の22時08分26.6秒に緊急地震速報（警報）を発表した。長野県北部では地震動特別警報の発表基準（予想震度 6 弱以上）を満たしており、平成25年 8 月 30 日の特別警報運用開始以降、初めての地震動特別警報となった。

この地震は地殻内で発生し、発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型であった。地震活動は本震－余震型で推移し、余震活動は次第に減少してきている。22時08分に発生した本震（M6.7、最大震度 6 弱）発生後の余震活動は、過去に内陸や沿岸で発生した同程度の規模の地震に比べて低調である。12月9日までに発生した最大規模の余震は、22日22時37分に発生したM4.5の地震（最大震度 5 弱）である。余震は、小谷村から白馬村にかけての南北約20kmの領域で発生している。なお、本震の震源近傍では、11月18日から前震活動がみられた。

気象庁本庁、東京管区气象台、長野地方气象台及び新潟地方气象台は、震度 6 弱～5 弱を観測した震度観測点及びその周辺を中心に気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣し、震度観測点の状況及び地震動による被害状況の現地調査を行った。

表 1 平成 26 年 11 月 22 日の長野県北部の地震（M6.7）による被害状況
（平成 26 年 12 月 9 日 16 時 45 分現在、総務省消防庁調べ）

都道府県名	市町村名	人的被害					住家被害					非住家被害	
		死者 人	行方 不明 人	負傷者		全壊 棟	半壊 棟	一部 破損 棟	床上 浸水 棟	床下 浸水 棟	公共 建物 棟	その 他 棟	
				人	人								人
長野県	長野市			12	2	10	4	12	868				10
	松本市								1				
	岡谷市								1				
	中野市								5				
	大町市			2		2		7	59				0
	飯山市								1				
	松川村			1	1								
	白馬村			23	4	19	27	17	55				75
	小谷村			4	3	1	6	27					
	信濃町			1		1							
	小川村			1		1	2	11	197				
飯綱町			2		2			11					
計		0	0	46	10	36	39	74	1,198	0	0	85	
新潟県	糸魚川市							1	2				
計		0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	